

# 「セロテック」 D-BIL

バナジン酸酸化法

## ■特長

- ・共存物質は通常の濃度では影響ありません。
- ・開封後の安定性が良好です。

## ■測定原理

検体中に酸性下でメタバナジン酸を作用させると、検体中の直接ビリルビンはビリベルジンに酸化されます。このときビリルビン特有の黄色が減少しますので、メタバナジン酸作用前後の吸光度差を測定することにより、検体中の直接ビリルビン濃度を求めます。

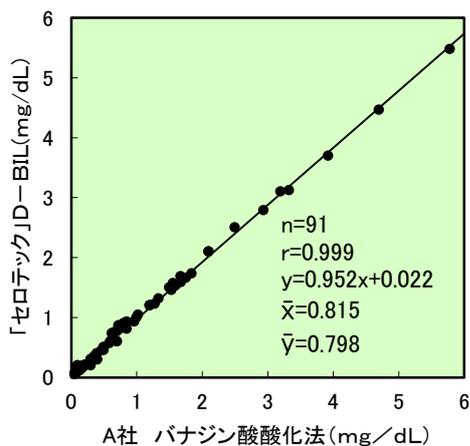
## ■測定条件(日立-7180の場合)

SAMPLE: 4.3 μL  
 R- I :120 μL      R- II :30 μL

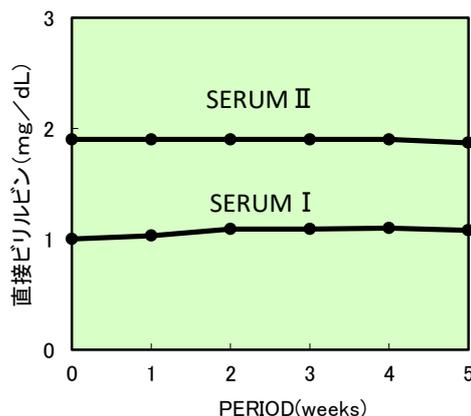
0      4.7 5.0      10.0(min)

分析法/測定ポイント 2ポイント    16-34  
 波長(副/主)      : 546/450  
 STD濃度          : 8.0 mg/dL \*  
 \*BIL標準物質を使用(ロットにより濃度は異なります。)

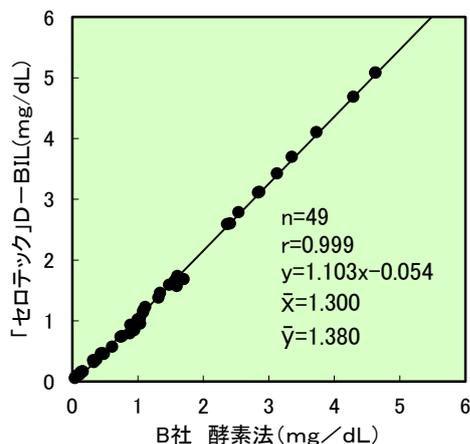
## ■相関(血清)



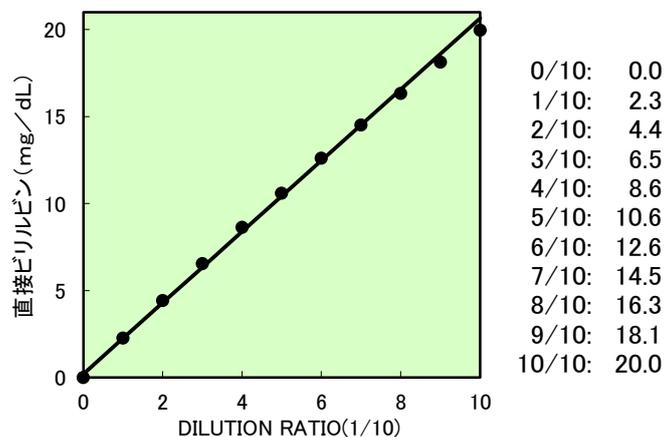
## ■開封後の安定性(2~10℃保存)



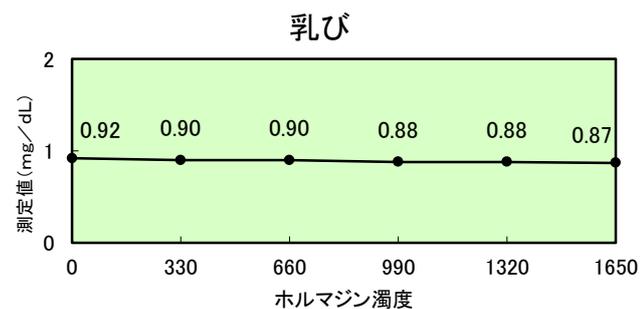
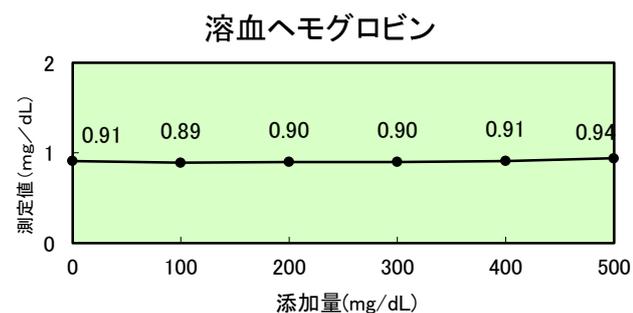
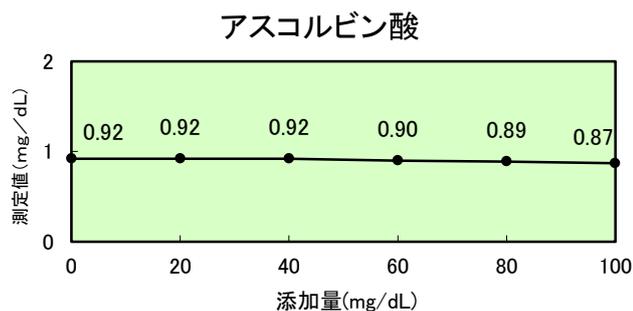
## ■相関(血清)



## ■直線性(ビリルビン水溶液)



## ■ 共存物質の影響 (血清)



## ■ 同時再現性

(単位:mg/dL)

	SERUM I	SERUM II
N	20	20
MEAN	1.00	1.83
MIN	1.0	1.8
MAX	1.0	1.9
R	0.0	0.1
SD	0.00	0.044
CV(%)	0.00	2.43

## ■ 包装

製品コード	製品内容	包装形態
A747-00	R-I (60ml×2)	60+19ml×2
	R-II (19ml×2)	(LABOSPECT)
A747-65	R-I (30ml×2)	30mlセット
	R-II (10.3ml×2)	(BM30)
A747-93	R-I (52ml×2)	52mlセット
	R-II (17ml×2)	(Abbott)
A747-96	R-I (80ml×2)	80mlセット
	R-II (29ml×2)	(キャンBC対応)
A592-00	R-I	20ml×2
A592-14	R-I	60ml×2
A592-12	R-I	80ml×2
A592-30	R-I	160ml×3
A592-35	R-I	300ml×3
A592-05	R-II	10ml×2
A592-25	R-II	30ml×2
A592-19	R-II	40ml×2
A592-45	R-II	75ml×3

## ■ 参考基準範囲

血清: 0.4mg/dL以下

金井 他,臨床検査法提要,改訂34版,p.533,2015.

## ■ 貯法及び有効期間

2~10℃保存 製造後1年6ヵ月 (開封後は4週間)

※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



株式会社 セロテック

お問い合わせ先 (企画開発室)  
 〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7  
 TEL 011-855-1131 FAX 050-3153-7493  
 E-mail: kikaku@serotec.co.jp

'2002,3000